



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）2月5日号 No. 1486

目次

■ 2009年のロシアの経済実績（速報）	1
■ 統計速報	4
2009年の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績（速報値） / 4	
—2009年の日ロ貿易は121億ドルで、59.0%減—	
日本の対ロシア月別輸出入通関実績 / 5	
■ トピックス	6
住金と住商が独ロガス・パイプライン向け鋼管受注 / 6	
2009年のロシア向け中古車輸出激減 / 6	
JICA四国支部がウクライナ視察団を招聘 / 6	
名古屋でウズベク投資セミナー / 6	

2009年のロシアの経済実績（速報）

はじめに

ロシア連邦国家統計局は2月1日、2009年の同国のGDP速報値を発表した。そこで、今回の速報では統計局の発表にもとづき、2009年のロシアの経済実績値を表にまとめてお届けする。なお、以下で見る2009年の数値は基本的にすべて速報値であり、後日改定される可能性があるので、ご注意願いたい。また、本来であれば、鉱工業生産関連の統計をより詳しく取り上げたいところだが、ロシア統計局の月報の発行が遅れている関係で、今号に間に合わなかった。鉱工業生産については、次号以降で改めてフォローしたい。

表1に見るように、2009年のロシア経済は、速報値で、7.9%のマイナス成長という結果に終わった。表2に示したとおり、ロシアにとっての基幹産業である鉱業は微減にとどまったものの、製造業や建設業の不振が際立った。また、支出面に着目すると（表3）、過去数年ロシア経済を牽引してきた家計消費がマイナス8.1%と縮小に転じ、また投資の大幅減が生じている。純輸出は前年比でプラスになっているものの、エネルギー・資源価格が下落したので、それによるデフレショックの方が大きかったと言えるだろう。

鉱工業生産に関しては、今号では表4と図1を掲載するにとどめる。ここでもやはり、製造業の不振が目立つ。ただし、鉱工業生産が回復に転じていることも見て取れよう。